

# 東雲地区商店会

## (東雲地区商店会)

広島県広島市南区段原日出

### 商店会を軸とした地域の団結で 今住む人を守り、未来の街を築く



#### 取組の背景

#### コロナ禍で見つめなおした 地域の利用者と未来の街

当商店会はこれまでも、児童の見守り活動、学生との交流、独居老人のサポートなど、地域の社会福祉協議会(2020年4月に連携協定を締結)と連携し、商店会の枠を超えた活動にも取り組むことで、商店会のファンづくりを目指してきた。

当商店会の地区内に小中学校が複数あり、子育て世代や学生が多く居住している。今回のコロナ禍では、地区内の子育て世代を対象とした子どもの一時預かりサービス(休校による一時預かり)や、学生が中心となる地域のブランド化といった、地域のまちづくりと商店会振興を両立した先進的な取組を行ってきた。これまでの来街者も親子連れが多かったが、今年度のコロナ禍により、大幅な来街者数等の減少となった。子育て世代の要望に応えるべく、日々変わっていく状況を迅速に把握することが必要だと考え、SNSを活用した情

#### 取組の内容

#### 地域を守るファミサポと 未来を築く街のブランド化

1つ目のファミリーサポート事業は、休校による子どもの一時預かりサービスである。「商店主が常に店舗にいる」という商店の性質を利用し、休校の影響で行き場を失った子どもを一時的に商店主が預かり地域の「子どもの居場所がなく、保護者も大変だ」といった要望へ対応した。安全・安心な商店会であることを学校関係者や保護者へPRし、同時に来街者の呼び戻しに繋がった。商店主にとっては店舗営業と並行して実施したことで、商店主の負担が少なく、3日という短期間で実施できた。

2つ目の「いまとミライ～暮らしやすい街しのめ」事業は、学生が主体となった地域のブランド化である。具体的な2つの取組から構成される。①ブランディングBOOK(地域情報誌)として、制作掲載する内容の企画や情報収集の過程に学生が携わり、商店会等の周知に

報交換ツールを構築し、地域の課題や要望を商店会で集約した。

その結果、「子どもの居場所がなく、保護者も大変だ」「コロナ禍だからこそ、地域で団結し、魅力を発信するべきだ」といった意見を受け、「子育て世代への支援」と「地域のブランド化」という2つのテーマを軸とした取組を実施した。そういったなかで、地域の声に応える取組として「ファミリーサポート事業」を行い、将来にわたる地域のブランド化に貢献する取組として「いまとミライ～暮らしやすい街しのめ」を行った。



ファミリーサポートを宣伝する  
商店街キャラクター「しのめさん」

繋げながら近隣学生や保護者の商店会利用に繋がった。地域の魅力や特色を学生が独自に発見することでシビックプライドを醸成し、地域のまちづくり活動を促進した。②周遊を促すスマートフォンアプリの開発も行い、地域情報を通知すべく、地域の掲示板情報、学校の運動会や演奏会の案内等を発信。また、商店会会員等が割引クーポンを掲載して、地区内の消費を促進した。さらに、周遊を促すゲームを実施。ゲームの参加者が、「ミッション」



「しのめにサンタがやってくる」イベント会場での集合写真

のクリアでゲーム内でのキャラクター育成や割引クーポンを取得できる。地区内外の親子連れ世代や学生を

ターゲットとした機能で、商店会等の新たなファンづくりや、コロナ禍で減少した来街者を呼び戻した。

## 取組の成果

## 会員が3年で2.5倍 多様な関係者と繋がる街に

当商店会の目標として会員の増員を掲げていた。過去3か年の成果実績として、2018年度の29店から2021年度で73店と会員数は2.5倍以上に増加した。その内訳としても、呉服屋、ブローガー、塾経営者、ブラ

イダル業など、かつて商店会になかった多様な業種の会員が増え、異業種間での交流で商店会の取組に深掘りができた。また、学生が主体となり将来の街の「ミッション」を考える機会ができ、商店会等の魅力や特色の周知・再発見をさせ、将来にわたる地域のまちづくり活動を促進した。

### 実施体制

ファミリーサポート事業は、①要望や意見等収集を社会福祉協議会と商店会会員とで実施、②事業の企画・運営は商店会役員や商店会会員が担い、6店舗が児童受け入れを実施、③事業の広報や周知はパンフレットやチラシで、商店会や学校関係者が

担当、④助言・指導として広島市から助言を受けた。「いまとミライ～暮らしやすい街しののめ」事業は、①企画・運営総括を商店会が実施、②連携団体に各プロジェクトの調査・広報等を依頼、地域団体は比治山学区社会福祉協議会他2団体、協賛企業は株式会社地域ブランディング研究所、バーナル合同会社他2団体。③教育・保育団体は微妙福祉会、比治山小学校、他7団体であった。

### キーパーソンからのコメント

#### 商店会の活性が、地域の発展へ ～商売人が本気で考えたらなんでもできる～

会長に就任した2017年春のこと、還暦すら若者と呼びそうな役員数名から「商店会を何とかしてくれないか」と頼られ、体制や事業の見直しを始めました。地域に愛されてきた商店たちが自らを盛りあげることで地域は活性化すると信じ、仲間を一人増やしてはひとつ新しいことができ、また一人増やしてはまたひとつ、その一步一步を繰り返しました。すると、キャラクター

「しののめさん」の登場、イメージソングの楽曲提供、YouTubeでラジオ放送、スマホアプリの開発など、想像もしなかったことが実現しました。なにかができる度に頭を巡るのは「想いは必ず通じる。行動は人を動かす。」ということ。さらに暮らしやすい街になるよう地域の皆さんと一緒に取り組んでいきます。



商店会 会長 加藤健太郎

### 商店街の概要

東雲地区商店会は、1980年に発足し、JR広島駅から南へ約1km、広島市中心部から南東へ約2kmに位置し、猿候川と旧JR宇品線に挟まれた地域である。近年、「地域の皆さんへの奉仕」をテーマに皆で団結し地域を盛り上げていこうという気持ちから、商店会のメンバーは個人商店の他、地域内にある病院や銀行、大型店舗も賛助会員となっている。平成の時代には会員の減少が続いたが、令和になってから役員若年化を図ったことで会員数も急増している。東雲地区の各商店や企業が賑わい、安心安全な街づくりの一助になればと、今後の事業活動の活性化を考えている。

所在地 広島県広島市南区段原日出  
人口 約14万人(広島市南区)  
電話 070-4232-4170  
FAX なし

URL [www.shinonome3.com](http://www.shinonome3.com)  
会員数 71名  
店舗数 71店舗(小売業12店、飲食店27店、サービス業2店、金融業5店、不動産業2店、医療サービス業3店、その他20店)

商店街の類型 複合型  
主な客層 家族連れ(親子)、  
高齢者  
/60歳代、40歳代